

当院における低血糖救急搬入患者の背景変化に関する実態調査

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

糖尿病治療における低血糖は重大な合併症であり、特に、高齢者では死亡率上昇と関連していることが示されています。低血糖リスクの低い新薬が登場しましたが、未だ低血糖で救急搬入される患者がいます。この研究は、経時的に低血糖で救急搬入される患者背景の変化について調査することを目的としています。

診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2012年1月～2023年12月に当院に救急搬入され低血糖と診断された方

使用する試料・情報

年齢、性別、糖尿病既往歴、搬入時の血糖値、血液検査（ALB, Cre, eGFR, 随時血糖、HbA1c）など
使用開始予定日：2024年7月29日

研究予定期間

2024年7月29日～2024年10月26日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

〔研究の情報管理責任者〕 薬剤部 佐々扶美

〔当院の個人情報管理責任者〕 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 薬剤部 佐々扶美

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)